



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

2月号



2月初旬は、東風解凍【はるかぜこおりをとく】と言われ、春を感じるあたたかな風が吹き、川や湖の氷をとかし始めるとのことですが、1月下旬に今年最強の寒波がやってきたように、春を感じられるのはもう少し先ようです。

2月の最終水曜日（2月22日）は、ピンクシャツデーです。ピンク色のシャツを着ていた生徒がからかわれて、いじめられました。周りの友だちが声を掛け合って、ピンク色のシャツやリストバンド、リボンなどを身に付け、いじめられた生徒も安心して学校に来られるようになったという実話から、いじめについて考える日としてできたそうです。私も、当日はピンク色の小物を身に付けて、この活動を応援したいと思います。

私たちは、様々な環境で育ち、生活しています。趣味や好きなもの、価値観や倫理観なども一人ひとり異なります。それらを認め合い、尊重し合うことは難しいことなのかもしれません。いじめや、〇〇ハラスメント、差別、争い・・・昔から絶えることがないのは、認め合う、尊重し合うことの難しさが原因の一つではないでしょうか。



南林間小学校の子どもたちも、一人ひとりが豊かな個性を持っています。毎日楽しく学校生活を送るためには、友だち同士認め合い、尊重し合うことが大切だということは、みんなが知っています。ただそのためには、「自分のことをわかってほしい、認めてほしい」ことよりも、「あなたの気持ちを理解するよ、認めるよ、わかってあげるよ」ということが大事だと思います。このことは、とても簡単な言葉から始めることができます。

「ありがとう・どういたしまして」「ごめんなさい・こちらこそ」、素直な気持ちで、この言葉が出てくれば、お互いの気持ちは、とても優しく温かくなります。

学校では、道徳をはじめ、あらゆる活動を通して、子どもたちに「相手の気持ちを尊重する」ことの大切さを伝えていきます。これからも、ご家庭・地域の方々の協力をいただきながら、大切なことを伝え続けていきます

今月も子どもたちが笑顔いっぱい、楽しく過ごす学校づくりに努めてまいります。

（校長 板坂 和明）



1月、書初め（1、2年生は硬筆。3年生以上は毛筆。）を行いました。一文字一文字、止めや払いなどにも注意しながら丁寧に書いており、廊下に掲示してある文字を見ると、子どもたち一人ひとりの「今年もやるぞ」という意気込みが伝わってきました。春に向けて、子どもたちは日々の活動に一生懸命取り組みながら、着実に、前に向かって成長しています。教職員一同、一日一日を大切にしながら、教育活動をしっかりと行ってまいります。

（教頭 大谷 幸司）